

シリーズ「グローバル・ジャスティス」

第66回

同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科では、連続セミナー「グローバル・ジャスティス」を開催いたします。このセミナーは、現代世界が直面するさまざまな課題における「ジャスティス」の問題を、講師が自らの視点で語っていくものです。したがって、どのような視角で、何を問題としてジャスティスを論じるかは講師にゆだね、主催者は一切の方向性をあらかじめ規定いたしません。ジャスティス(正義)という言葉のもつ多義性や問題性もふくめて、多様な議論の場として提供していくものです。

9.11同時多発テロ事件から20年の今・世界を考える

2001年9月11日、合衆国を襲った同時多発テロ事件は、21世紀の世界地図・世界政治を大きく塗りかえることになりました。世界は、「正義」、「戦争」、「宗教」、「植民地主義」、「ジェンダー」といった、わたしたちの社会や政治を織りなすさまざまな概念や事象について、再考を迫られました。とはいえ、対テロ戦争という新しい形の、(無法な)超大国の攻撃がもたらした混乱について、わたしたちはそこで提起されてきた諸問題をやり過ごしてきたのではないのでしょうか。

本セミナーでは、9.11事件以来、中東諸国と欧米諸国の対立をいかに講和へと導いていくかを論じてきた内藤先生と、9.11事件をきっかけに、合衆国の外交、とりわけ武力による他国への介入を、非暴力の平和外交へと転換させる契機について研究されてきた三牧先生をお招きし、お二人の視点から、この20年を振り返りつつ、現在の世界がどのように見えているのかについて論じていただきます。

講師 内藤正典氏(GS研究科教授)
三牧聖子氏(高崎経済大学経済学部准教授)

司会 岡野八代氏(GS研究科教授)



日時: 2022年1月26日(水)

18:00~19:30

*同志社大学学生・教員対象
学外者にはオンラインで公開

申し込みフォーム

<https://forms.gle/QQnsKD9KrTd7i7Dm6>

参加費無料・要申込

同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科

Tel: 075-251-3930 E-mail: ji-gs@mail.doshisha.ac.jp

共催 ヒューマン・ディグニティ研究センター

フェミニスト・ジェンダー・セクシュアリティ研究センター